

**「日本株式ESGファンド」への投資
およびESG運用手法の高度化について**

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 根岸 秋男）は、今般、ESG投融資のさらなる高度化に向けた取組みの一環として、日本株式を組み入れ対象としたESGファンドへの投資を決定しましたのでお知らせします。

当社は、グループ会社である明治安田アセットマネジメント株式会社（以下、MYAM）が運用する「明治安田日本株式ESGダイバーシファイド・ファンド」（以下、当ファンド）に総額300億円を投資します。当ファンドは、MYAMが付与するESG格付を定量的に構成銘柄の組み入れウエイトに反映したポートフォリオを構築することにより、収益性の確保をめざします。

また、本投資への取組みを通じて、グループ会社と協働で、株式投資におけるESG要素のポジティブスクリーニングを通じた銘柄選定やパフォーマンス効果のモニタリングを行ない、それらを投資判断のプロセスに組み入れることにより、ESG投融資のさらなる高度化を推し進めます。

当社は、「ESG投融資方針」（注1）に則り、資産運用業務においては、国連責任投資原則（PRI）への署名などを通じて、ESGの観点から投融資の意思決定に組み込むことを推進しています。引き続き、ESG投融資を通じて、持続可能な社会の実現に貢献する資産運用を行なってまいります。

【当ファンドの概要】

名称	明治安田日本株式ESGダイバーシファイド・ファンド
運用者	明治安田アセットマネジメント株式会社
運用方針・運用対象	MYAMが付与する5段階のESG格付に応じてベンチマークである「JPX日経インデックス400」（注2）構成銘柄の組み入れウエイトの増減を調整
当社投資額	総額300億円
設定日	2020年11月19日

（注1）2020年5月22日付ニュースリリース「ESG投融資方針の公表について」

https://www.meijiyasuda.co.jp/profile/news/release/2020/pdf/20200522_05.pdf

（注2）2014年1月に日本取引所グループと東京証券取引所および日本経済新聞社が共同開発した株式指数。銘柄選定項目は自己資本利益率（ROE）、営業利益、時価総額等

以上